

浜コ三協だより

第11号

この広報誌は新潟市の地域活動補助金を受けて発行しました。

市との協働推進事業

浜浦小学校区コミュニティ協議会 会長 家坂博幸

区民協働森づくりモデル事業 計画図



区民協働森づくりモデル事業計画図



第2回汐見台住宅跡地植樹



ネムの森整備(新潟大学農学部学生 他)

浜浦小学校区コミュニティ協議会は16自治会と6地区団体が中心となつて、地域課題の解決と基盤作りに取り組みでおります。本年度、地域が行政と協働で推進してきました事業を紹介します。

1.「区民協働森づくりモデル事業」

昨年に続き、松苗650本を汐見台市営住宅跡地に植樹しました。これを機会に、小中学校、コミ協、大学、NPO、その他の地域団体等による「汐見台エリア活用連絡協議会」が発足し、年間計画・予算等毎年協議して事業

を推進していくことになりました。(詳細は5頁)

2.「浜浦小学校の自然学習林・ネムの森整備」

新潟大学農学部生産環境科学科の中田教授の御指導で学生さん35名による森の間伐がおこなわれました。

3.「浜浦小学校総合学習」

児童への環境啓発(一緒に成長しよう森づくり)を多面的に御指導していただいております。(詳細は2頁)

4.「地域の安心・安全マップ作り」

自治会、地域団体、学校が連携して、学校と地域が共有

するマップを作り、児童の安全を確保します。(詳細は3頁)

5.「親子ふれあいフロアカーリング大会」

体にやさしく、楽しめる新しい競技を普及しながら、児童と高齢者の健康維持と交流を図っております。(詳細は3頁)

6.「浜コミ協 合同演奏会」

1〜5の事業を支援していただいている浜浦小学校、関屋中学校、日本歯科大学による本事業は6回目を迎え、地域が毎年楽しみにしている伝統行事になりつつあります。(詳細は2、3頁)



浜浦小学校の総合学習(6年生)

市との協働 推進事業

人の思いが 尾瀬とネムの森を繋ぐ

尾瀬小学校教諭 藤田 滋

6年生の総合的な学習は、尾瀬での環境保護活動と身近な森の保全活動とを比較し、今、自分たちができることを実現していくという内容です。学習の過程で、浜コミ協会長の家坂様、新大農学部教授中田様、6学年育成会役員の皆様にご協力いただきました。「わたしたちがくらしやすい環境を守るために保安林や海岸の環境整備に努力



6年生尾瀬自然教室

している人たちがいる。」活動の意味が心にじわじわと沁み渡りました。「植樹や海岸清掃、水の節約などに取り組みます」「ネムの森を守っていく活動に取り組みたい。」一連の学習と体験を経て、子どもたちの気持ちの中に自然や環境・くらしを守る多くの方々の思いが引き継がれていくことを実感しました。

第4回親子ふれあい フロアカーリング大会

文化スポーツ部会 田村良三

11月30日(日)に町内会・自治会のお年寄り、子供、親子の方々、それに今年から参加された浜浦小学校の先生方を加えた12チームによるフロアカーリング大会が開催されました。各選手、思い通りに進まないフローカーに、てこずりながらも熱戦が繰り広げられ、あちこちから熱い声援と奇声があがる楽しい大会となりました。



優勝決定リーグでは小学生の浜コースAチームが、準決勝では金衛町チームとのPK戦を制し、決勝戦では8対0のパーフェクトで浜松町チームに勝利し、見事に優勝しました。来年も実施予定です。

安心・安全マップの発行

防災部会 部長 大坂利夫

地域に貢献できる取り組みとして、「小学生」の登下校時における交通事故や犯罪被害から身を守るための「安心・安全マップ」を発行することとしました。この目的達成のために「安心・安全マップ」に記載するポイントを次の通りとしました。
1. 交通事故多発地帯の明示
例えば狭くて急な坂道表示、冬季の道路凍結で滑りやすい道路の表示。
2. 犯罪が発生しやすい場所の明示
犯罪が起りやすい場所は、「誰もが入りやすい場所」や「誰からも見えにくい場所」ですので、これ等の場所の明示。
こうしたポイントを踏まえながら、街を点検し、マップに明示しました。明示された場所を、地域住民の方々、学校関係者の方々、警察の方々が協力して注意深く見回ることにより、交通事故や犯罪被害が「ゼロ」の街になっていくものと思います。

安心・安全マップの作成にあたり、多くの方々のご協力を頂きました。有り難うございました。

第6回浜コミ協合同演奏会開催

環境整備部会 部長 佐藤 正三

地域と学校のふれあいを推進する浜コミ協主催の浜浦小学校、関屋中学校、日本歯科大の3校合同演奏会が、今年も9月21日の日曜日に、日本歯科大講堂で開催されました。この演奏会は、浜浦地域の海岸保安林の森づくりとともに、地域と学校が連携した新しい地域文化の定着を図る事業として、行政も注目しております。

当日は好天に恵まれて、歯科大講堂に約400名の地域の皆さんからお集まりいただきました。2時間強の演奏会を存分にお楽しみ頂けたかと思えます。各校は、それぞれの特徴を出した演奏スタイルでした。浜浦小学校器楽部の皆さんは、演奏にわき目も振らずに真剣に取り組む姿勢が漲っていました。皆さんの目も輝いていて、とても素敵な演奏の持てる演奏でした。関屋中学校の皆さんの演奏も、管楽器と打楽器の奏でるハーモニーは歯切れよく、時には力強く、時には優美で見事な演奏でした。歯科大の皆さんによる演奏は、大人の味も少し加えたエネルギー溢れる演奏で場内を盛り上げました。また、今回の演奏会では参加者全員による合唱が新たに加わりました。全員で唱う唱歌「ふるさと」は、大いに地域の連帯感を深める意義深いものです。今後も新企画を取り入れて運営してゆけば、必ずや地域と学

校の一体感も増幅されることでしょう。ご協力いただいた3校の皆さん、有難うございました。そしてご苦労様でした。また、運営に携わった浜コミ協の役員の方々も、大変ご苦労様でした。なお、アンケートで皆様から頂いたご意見を別表にご紹介させていただきます。これ等のご意見は来年度の企画に反映させていきたいと思っております。



浜浦小学校の演奏



関屋中学校の演奏



日本歯科大学の演奏

合同演奏会アンケート結果

【質問】来年度、して欲しいことはなんですか

1. 手拍子が出る曲を加えて欲しい。(42才女)
2. 五十嵐教授の演目があっても良いのでは。(51才男)
3. 五十嵐先生のサクソをもっと聴きたい。(45才女)
4. 入場を20分前に入れて下さい。高齢者で立ちんぼは苦しいです。(75才男)
5. 歯科大の軽音楽部の演奏を。(70才男)
6. 歯科大の軽音楽部で、女性ボーカルを入れて欲しい。(73才男)
7. 浜コミの宣伝もして下さい。(37才男)
8. 合唱を二曲歌いたい。(76才男)
9. 関中合唱部も出演して欲しいです。(23才女)
10. 大学生には私たちにもわかる曲を願います。(82才女)
11. 浜小の順番を最後にして下さい。(14才男)

区長さんとの意見交換会

浜コミ協自治協委員 大堀隆夫

昨年10月22日に、高橋中央区長さんと意見交換会を行いました。事前に提出していた「区長さんにお聞きしたいこと」に基づき質疑が行われました。浜コミ協の意見をまとめると、1. まちなか活性化都市計画、2. 地域コミ協関連について、3. その他、に分けられます。

1. 「まちなか活性化」は特に旧大和跡地の活用について。市役所の一部が移転すれば人が集うという方向でなく歴史的な街をふりかえり使用者に合わせた開発にしたい。市ありきではない発想が必要。

2. コミ協関連①新潟市ではコミ協の位置づけ・役割を自治基本条例に明記する。社会の変化に対応してゆきたい。又、委託費の問が



ありました。コミ協と自治会とは同様な団体とは考えていない。活動にどの団体が関わるかはケースバイケース

中央区自治協議会の活動

浜コミ協自治協委員 大堀隆夫

1. 中央区自治協議会は、地方自治法に基づいて各区に設置された市の付属機関の位置づけです。私達区民と行政が協働しながら地域の課題の解決や地域のまちづくりを進める活動をしています。私達が生活する街を中央区全体と考えると広すぎますが、町内会や自治会・小学校区の範囲なら「私達の街」という実感を持つと思います。しかし、「安心・安全」「防災・防犯」「教育」「福祉」等の課題に際しては、中央区という行政の単位で立ち向かわなければ対応できません。自治協議会は日常生活の場としての地域社会と、行政単位としての中央区との要であると



1. 中央区自治協議会は、地方自治法に基づいて各区に設置された市の付属機関の位置づけです。私達区民と行政が協働しながら地域の課題の解決や地域のまちづくりを進める活動をしています。私達が生活する街を中央区全体と考えると広すぎますが、町内会や自治会・小学校区の範囲なら「私達の街」という実感を持つと思います。しかし、「安心・安全」「防災・防犯」「教育」「福祉」等の課題に際しては、中央区という行政の単位で立ち向かわなければ対応できません。自治協議会は日常生活の場としての地域社会と、行政単位としての中央区との要であると

2. 自治協議会の委員は、各地域のコミュニティ協議会、公共的団体の代表者、学識経験者、公募委員の計38名で構成されています。月1回の全体会議の他に、3つの常設部会と臨時の特別部会、編集委員会、各種の委員会が設置され活動しています。

3. 区ビジョン特別部会について。新潟市は平成27年度から8年間の新潟市総合計画の策定作業を行っています。自治協では委員11名による特別部会を設け「区ビジョンまちづくり」の審議を進めています。区ビジョンは市の総合計画に基づき、特色ある区づくりに向けて役割や目指す姿、具体的な取り組みを示します。検討内容は、担当事務局より、現状と課題や施策等の素案が示され、各委員と意見を出し合い事務局にて集約し、全体会議で審議します。自治協はこのような活動をしています。

ゴミはお持ち帰りを!!

浜浦小学校青育協会 会長 家坂博幸

今年も250名のボランティアの方々から参加していただき、きれいな海岸・森になりました。この行事は毎年9月の第1土曜日に、浜浦小学校青育協の環境整備部が中心となり、先生や他部会の協力を得ながら、おこないました。

昨年からは浜浦小青育協単独で主催することになりました（これまでは関屋小青育協と共催）。

浜小グラウンドに集合して、海岸や森で拾ったゴミを持って、学校に戻ってきました。

体育館を開放していただき、夏の暑い陽射しに当たらず、座りながら、6年生環境整備部長による部活動や海岸ゴミ収集の意義など、くつろいで聞くことができました。



砂浜には、花火や食事のあとの容器類など、夏の忘れ物が散らばっていました。ゴミを出しても、それを持ち帰るマナーが海岸を利用する人達に広がってほしいものです。

汐見台エリア活用連絡協議会

環境整備部会 部長 佐藤正三

区民協働森づくりといった大きな事業が、一昨年からは浜浦地区で始まっています。この事業は、区、民が連携して海岸保安林を再生することです。平成25年は、汐見台市営住宅跡地の更地約400坪にクロマツ610本を植樹、26年度は更に400坪にクロマツ650本が植樹されました。この活動は防風防砂のための保安林を復活させようとの地域の意向で、区役所、ライオンズクラブ、新潟大学、浜浦小学校児童、保護者が協力し合って植樹を行っています。植樹されたエリアは名称が西海岸公園に統一されました。

9月30日午後から市役所で第2回汐見台エリア活用連絡協議会が開かれました。出席者は新大農学部中田教授、浜コミ協家坂会長、浜浦小学校諸橋教頭、関屋中学校佐藤教頭、NPO「ウッドイア阿賀の会」、にいがた野鳥の会、新潟県自然観察指導員

の会、中央区建設課の皆さんです。

本年度森づくり実施状況報告と平成27年度の事業計画について検討されました。具体計画として、汐見台の残った更地にクロマツ500本植樹する予定であること、既に植樹されたエリアの雑草除去を定期的に実施することが話し合われました。森づくりで生じた倒木や廃材をネムの森に集め、それを利用してネイチャークラブ等、子供たちの創造性を高める一助にしたい計画もあります。海浜植物園の現状についても、保安林の機能を持った公園を目指し、近々に現地視察が予定されています。今後は隣接する中学校からも参加してもらい、名実ともに地域が一体となった森づくりが進められるとよいですね。地味な活動ですが、ゴミが溢れる大仕事かと思えます。地域の皆様方のお力添えをお願いします。

松林の向こうに広がる世界を

国土交通省信濃川下流河川事務所 関屋出張所 所長 原俊彦

金衛町海岸（関屋浜）は信濃川や阿賀野川から流れ出る大量の土砂により、作られてきたもので、明治時代の始めのころまで海岸線は広がっていったと考えられています。その後、様々な原因が重なり、砂丘の後退が始まり、最大で360mも失われました。これからの金衛町海岸は、海岸整備を行い、かつての市民の憩いの風景を取り戻しながら、市民に親しまれる場所として充実させ、水の都・新潟市のシンボルとなるような、海岸作りを目指します。海岸の整備や管理は、通常、新潟県が行いますが、金衛町海岸は、海岸保全の重要性等から平成19年から国（国土交通省）が整備を行っています。



秋晴れの新潟シティマラソン 皆様のご協力に感謝

文化・スポーツ部会 部長 中静浩一

晴天に恵まれた今年の新潟シティマラソン大会は第32回を迎え、全国から1万3千名弱（台湾からは7名）が参加し、榎谷小路、萬代橋、信濃川、日本海沿岸を駆け抜けました。当日のボランティアは総勢約2千名で、当浜浦地区は汐見台裏のタコ公園前の30キロ地点を毎年担当し、浜コミ協から48名、スポーツ振興会から54名計102名が沿道警備及びフードサービス、スペシャルドリンク、給水及びスポーツドリンクサービスを担当し、選手と一体となった声援に尽力されました。当30キロ地点の統括責任者は私が今年から大会本部詰めに、進められた。私には大会本部詰めの一部始終を観察いたしました。

晴天に恵まれた今年の新潟シティマラソン大会は第32回を迎え、全国から1万3千名弱（台湾からは7名）が参加し、榎谷小路、萬代橋、信濃川、日本海沿岸を駆け抜けました。当日のボランティアは総勢約2千名で、当浜浦地区は汐見台裏のタコ公園前の30キロ地点を毎年担当し、浜コミ協から48名、スポーツ振興会から54名計102名が沿道警備及びフードサービス、スペシャルドリンク、給水及びスポーツドリンクサービスを担当し、選手と一体となった声援に尽力されました。当30キロ地点の統括責任者は私が今年から大会本部詰めに、進められた。私には大会本部詰めの一部始終を観察いたしました。

笑いヨガで地域のお仲間をつくりませんか

関屋地区公民館 長沼剛

皆さん笑いヨガをご存知ですか？聞いた事はあるけれど、よく分からないという方がほとんどではないでしょうか。笑いヨガは笑いの体操とヨガの呼吸法を組み合わせた健康体操で、体力に自信がない方でも気軽に始められることができます。最近では県内の医療機関でも実践されるなど今注目の健康体操なのです。

を主催することができました。本当にありがとうございました。2日間で44人ご参加いただき、講座終了後のアンケートでは満足度100%と高い評価をいただくことができました。さらに嬉しかった事は、講座に参加された有志の方が自主サークルを結成されたことです。地域の絆がまたひとつ増えました。毎月第三水曜日午後1時30分から公民館で活動されています。是非、皆さんもお仲間になつてください。

詳しくは代表の藤井さん(233-4048)までお願いします。



去る3月に浜コミ協さんのご協力でご念願の笑いヨガ体験講座

やすらぎ堤を花で

関新二丁目町内会会長 小竹昭男

10月19日(日)千歳大橋上流付近のやすらぎ堤で、私達7名と関屋大川前4区自治会、そして新潟市公園水辺課職員と一緒に、チューリップの植栽を行いました。



当日は秋空の下、午前10時から30数名が4ヶ所の花壇に分れて、1千550個の球根を植えました。そして来春には、きっと色とりどりの花を咲かせて、多くの人々を、楽しませてくれることを願っています。

「一球入魂(魂?)」の作業でした。



液状化現象

関屋田町四丁目自治会会長 武藤義仁

近年、信濃川の護岸補強工事や、関屋浜改良工事等が継続的に行われ、まことに心強い限りです。

その中で取えて地盤の液状化現象に言及してみますと、液状化とは、地下水位が高い砂地盤が地震などで揺れると水と砂が混ざり、地盤が泥水の池のようになり建物や地盤が倒壊・埋没・変形したりする現象です。

新潟地震で経験された方もいると思いますが、東日本地震でも沿岸部で広範囲におきていました。

新潟地震当時、私の家も傾きました。庭から噴水のように水が吹き上げられる家が傾いたことを鮮明に覚えています。

浜コミ近辺では、主に現西大通りや学校町通りから信濃川までの地域が旧河川敷の埋立地であり、50センチも掘ると水が湧き出す高水位・砂地盤地域です。

液状化エリアでの防災はなかなか困難ですが、自分の家があるエリアがどのような地盤にあるのか、同条件であろう関屋・鏡淵・白山の各コミ協協働で専門家等の講義会を開催し、勉強すること、各々の地盤を確認する事はとても重要な事だと思えます。

又、新潟市の「ハザードマップ等」を利用し、もっと詳しい知識を勉強し、共有することも肝心と言えます。

地域コミュニティ活性化事業のご紹介

福祉・教育部会 部長 渡部 俊尚

浜浦地域の活性化を目的として活動している団体(事業)をご紹介します。

赤ちゃん誕生おめでとう

浜浦地区民生委員児童委員協議会

浜浦校区とその周辺でお生まれの赤ちゃんとお母さんを対象にお祝いする会を年2回開催しております。

この集まりをきっかけにお母さんたちの友好が深まり地域でのお友達作りの場となっております。

毎年自治会を通じて詳細案内を回覧しております。該当される方は是非ご参加ください。



健康マージャン大会

関屋本村町自治会

健康麻雀を通じて、普段交流の機会が少ないシニア世代の皆さんに参加していただき、顔と顔の付き合いで地域での交流を目指しております。麻雀は手指の運動・ゲーム中の会話により認知症の予防にもなり健康寿命が延びる効果があるとされています。

現在会員数は70名程度です。大会は毎月第2月曜日・関屋地区公民館で開催しております。



大会は毎回13卓で行っており、組み合わせの都合がありますので事前申し込みが必要です。参加ご希望の方は是非一度会場に来ていただき、様子を見てくださいます。

あなたの町の民生委員を知っていますか？

浜浦地区民生委員 児童委員協議会 副会長 平岡 四季子

現在「浜浦地区民生委員児童委員協議会」(浜浦民児協)は、渡部俊尚会長のもと17名の民生委員児童委員と2名の主任児童委員で活動しています。

各町内会・自治会単位に「民生委員・児童委員」がいて、地域で見まもりが必要な方の相談を聞いて、行政や包括支援センター等への橋渡しをしています。又「主任児童委員」は、全地域の児童に関する活動をしています。具体的な活動は、

1. 子育て支援
2. 「赤ちゃん誕生おめでとう」祝う会
3. 春・秋の年2回開催「浜浦ひなたぼっこ」の会
4. 毎月1回第2金曜日午後1時30分から関屋「コミュニティハウス」で開催

地域や年齢に関係なく、参加者、出演者、ボランティア、民生委員が、皆一緒に楽しく、踊り、体操、コーラス等多彩ですので参加希望の方、お待ちしております。

「耳よりな話」を募集します！

編集委員会では、皆様からの「耳よりな話」を募集しています。話題がありましたらご一報下さい。

渡り鳥観察舎

浜コミ協会長 家坂博幸

浜浦小学校右手道路を海岸に向かって登っていくと、右側の森の中にフェンスで囲まれた観察舎があります。

「日本鳥類標識協会新潟グループ」の方々が、汐見台市営住宅跡地の一面に、かすみ網を掛けて(環境省の許可済)、飛来する渡り鳥を捕獲、記録した後、標識を付けて放鳥する調査作業を行っておりま。観察データは財団法人山階鳥類研究所の鳥類標識センターに送られます。

この近くを散策、ジョギングされている方、御存知でしたか？



「耳よりな話」を募集します！

編集委員会では、皆様からの「耳よりな話」を募集しています。話題がありましたらご一報下さい。

地域の「いきいき」案内

浜浦地区社会福祉協議会 民生委員協議会

今年も浜浦地区にお住まいの皆さんが、一堂に集まって親睦を深められる様に「地域のつどい」を開催いたします。

詳細は後日、自治会・町内会を通じてお知らせ致します。

日時 平成27年3月15日(日)

会場 関屋地区公民館

出演者(予定) 新潟市中央警察署 浜浦小学校 荒 芳信 関屋中学校合唱部



浜コミ協担当市職員紹介

中央区役所地域課 滝沢和也



中央区では、コミュニティ協議会の活動を支援するため、原則として一つのコミュニティ協議会に職員2名を担当職員として配置しております。

私は今年度より、浜浦小学校区コミュニティ協議会の担当職員となり、毎月の定例会や行事に参加させていただいております。

毎月行われている定例会では、事業内容の審議などにおいて活発な意見交換が行われており、コミ協全体でよりよい事業にしようという熱意を感じ取れました。先日開催されました「浜コミ協合同演奏会」におきましても、コミ協が学校や地域の方々と一体となって事業を行っており、参加者も大変多く、また素晴らしい演奏もあり、楽しく参加させていただきました。今後このような行事や定例会におきまして、少しでも担当職員としてお手伝いさせていただきますと考えておりますので、今後ともよろしく願います。

関屋地区公民館 阿部裕子



この度、浜コミ協担当職員をさせていただくことになりました。よろしく願います。

定例会に参加させていただき、役員の皆さんが地域の課題を探り、課題解決に向けて熱意を持って議論を重ねる姿に、地域づくりの大変さ、難しさを感じています。

それでも、合同演奏会をはじめ、地域でのさまざまな取り組みで住民の方々の笑顔を拝見すると、目指す地域づくりが少しずつ形となつていくことを実感します。時間も労力もかかると思いますが、コミ協の皆さんのたゆまぬ努力が大きな力となつていて、違いありません。

担当職員としてまだまだ未熟で、ご迷惑をおかけすることもあるかと思えます。少しでも皆さんのお手伝いができればと思っております。どうぞよろしく願います。

浜浦小学校地域教育 コーディネーター の活動

佐藤順子

地域の皆様と学校をつなぐきっかけ作りとして皆さんが興味を持つている「食」を給食に重ね、足を運ぶ機会のない学校へ来ていただく為に企画をした「給食試食会」も、今年で5年目になりました。参加された後、学習支援ボランティアを引き受けてくださることが増えてきました。子どもたちは地域の方に教えてもらったり見守られたりすることで、より成長していきます。

そして、地域の方々と子どもたちの関わる機会が増えることで、安心・安全につながって行くのだと思っております。



給食試食会

関屋中学校地域教育 コーディネーター の活動

平間築

新潟市教育委員会の教育ビジョンに「学・社・民の融合による教育」があります。

「学」は、新潟市内の全ての小・中学校、中等教育学校です。「社」は、公民館、コミュニティハウス、図書館などです。「民」は、地域住民、家庭(P.T.A)、地域の諸団体(民生委員、コミュニティ協議会、自治会など)です。

地域教育コーディネーターは「学・社・民」の架け橋となることが主な業務です。各学校で地域コーディネーターの業務内容は若干異なりますが、「子どもが元気に!」「地域が元気に!」「学校が元気に!」を目指しています。

私も3年目に入り、日々、手応えを感じられるようになりました。それは、全ての皆様のお陰だと思っております。

今後とも頑張りますので、よろしく願います。

編集後記

編集委員長
今井昭雄

多くの皆様に沢山の玉稿を頂きまして大変有難うございました。お陰様で無事11号を発刊することができました。出来上がりをみてほっとしているところですが、これまで編集責任者を務めてこられた小竹さんや自前で作っていた頃から苦勞された事務局長の三添さんのお力添えが大きかったこと改めてお礼申し上げます。

さて、本誌の編集方針は市から補助金を受けている協働推進事業の報告を重点としてお伝えすることはもちろん、その上で浜コミ協の特徴を出し、かつ新しい内容を盛り込むという欲張ったものです。また、継続的に当会が取り組んでいる海岸、砂丘、松林、小学校の森の整備事業を伝えていきたいと思っております。益々寒くなりますので皆様お身体に気を配って下さい。